

ダイワ高利回り Ｊ－ＲＥＩＴオープン (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第24期(決算日 2022年7月21日)
第25期(決算日 2022年8月22日)
第26期(決算日 2022年9月21日)
第27期(決算日 2022年10月21日)
第28期(決算日 2022年11月21日)
第29期(決算日 2022年12月21日)

(作成対象期間 2022年6月22日～2022年12月21日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／不動産投信（リート）／インデックス型		
信託期間	2020年7月22日～2025年6月20日		
運用方針	投資成果を「日経高利回りＲＥＩＴ指数」の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。		
主投資対象	ベビーファンド	高利回りＪ－ＲＥＩＴマザーファンドの受益証券	
	高利回りＪ－ＲＥＩＴマザーファンド	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から１年以内に分配を開始し、分配開始後は原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、投資成果を「日経高利回りＲＥＩＴ指数」に連動させることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

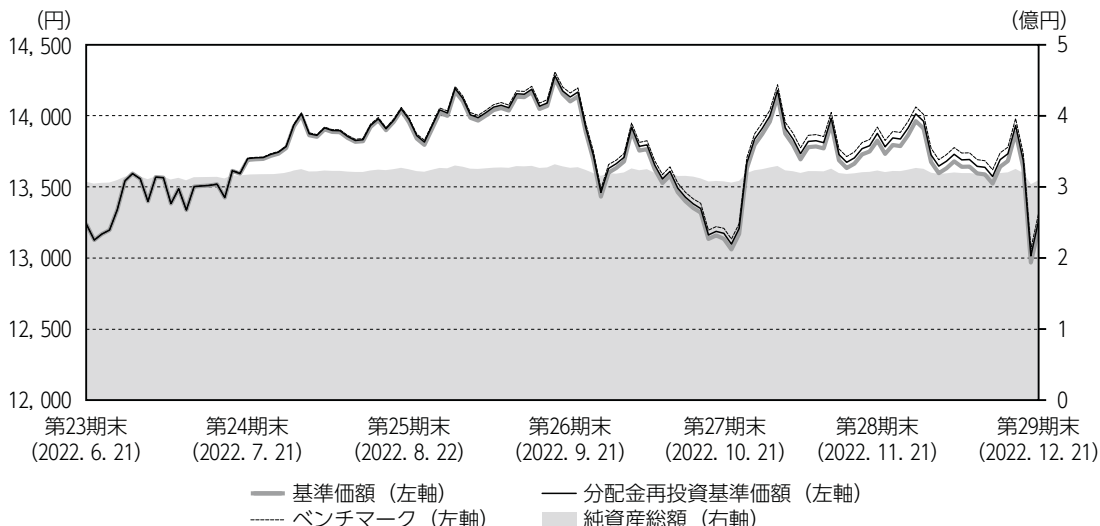
決 算 期	基 準 価 額			日経高利回りＲＥＩＴ 指数（トータルリターン）		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	不動産投信 指 数 先 物 比 率	純 資 産 額
	（ 分 配 額 ）	税 込 配 分	み 期 騰 落 中 率	（ベンチマーク）	期 騰 落 中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末（2020年 8 月21日）	10,620	0	6.2	10,665	6.7	95.1	4.9	212
2 期末（2020年 9 月23日）	10,610	0	△ 0.1	10,672	0.1	95.2	4.7	212
3 期末（2020年10月21日）	10,753	0	1.3	10,831	1.5	95.3	4.7	215
4 期末（2020年11月24日）	10,807	0	0.5	10,894	0.6	95.3	4.7	216
5 期末（2020年12月21日）	11,139	10	3.2	11,254	3.3	95.5	4.5	223
6 期末（2021年 1 月21日）	11,728	10	5.4	11,870	5.5	95.6	4.4	240
7 期末（2021年 2 月22日）	12,926	10	10.3	13,132	10.6	96.1	3.9	300
8 期末（2021年 3 月22日）	13,270	10	2.7	13,492	2.7	96.1	3.9	302
9 期末（2021年 4 月21日）	13,719	10	3.5	13,976	3.6	96.5	3.6	341
10期末（2021年 5 月21日）	13,920	10	1.5	14,200	1.6	96.3	3.7	332
11期末（2021年 6 月21日）	14,395	10	3.5	14,709	3.6	96.5	3.5	362
12期末（2021年 7 月21日）	14,537	10	1.1	14,873	1.1	96.6	3.4	377
13期末（2021年 8 月23日）	14,077	10	△ 3.1	14,413	△ 3.1	94.1	3.6	350
14期末（2021年 9 月21日）	13,999	10	△ 0.5	14,341	△ 0.5	96.4	3.7	340
15期末（2021年10月21日）	13,918	10	△ 0.5	14,280	△ 0.4	96.2	3.7	336
16期末（2021年11月22日）	13,747	10	△ 1.2	14,126	△ 1.1	96.3	3.7	332
17期末（2021年12月21日）	13,586	10	△ 1.1	13,981	△ 1.0	96.2	3.7	326
18期末（2022年 1 月21日）	12,616	10	△ 7.1	13,004	△ 7.0	96.4	3.7	302
19期末（2022年 2 月21日）	12,872	10	2.1	13,290	2.2	96.3	3.7	307
20期末（2022年 3 月22日）	13,457	10	4.6	13,914	4.7	96.3	3.7	314
21期末（2022年 4 月21日）	13,525	10	0.6	14,002	0.6	96.2	3.8	315
22期末（2022年 5 月23日）	13,508	10	△ 0.1	14,004	0.0	96.2	3.8	313
23期末（2022年 6 月21日）	13,235	10	△ 1.9	13,747	△ 1.8	96.3	3.7	307
24期末（2022年 7 月21日）	13,690	10	3.5	14,234	3.5	96.2	3.7	317
25期末（2022年 8 月22日）	13,955	10	2.0	14,528	2.1	96.2	3.7	324
26期末（2022年 9 月21日）	14,102	10	1.1	14,708	1.2	96.3	3.7	326
27期末（2022年10月21日）	13,135	10	△ 6.8	13,720	△ 6.7	96.4	3.6	307
28期末（2022年11月21日）	13,826	10	5.3	14,460	5.4	96.3	3.6	323
29期末（2022年12月21日）	13,206	10	△ 4.4	13,830	△ 4.4	96.4	3.6	309

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 日経高利回り ＲＥＩＴ 指数（トータルリターン）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日の前営業日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
(注 3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注 4) 投資信託証券および不動産投信指数先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 5) 不動産投信指数先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- * ベンチマークは日経高利回り ＲＥＩＴ 指数（トータルリターン）です。

基準価額・騰落率

第24期首：13,235円

第29期末：13,206円（既払分配金60円）

騰 落 率：0.2%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

ベンチマークの動きに連動した投資成果をめざした運用を行った結果、国内リート市況は国内外の長期金利の動きを背景に大きく変動しましたが、当作成期を通じてみるとほぼ横ばいとなり、基準価額もほぼ横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ高利回りＪ－ＲＥＩＴオープン（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		日経高利回りＲＥＩＴ 指数（トータルリターン）		投 資 信 託 証 入 比 率	不 動 産 投 信 指 数 先 物 比 率
			騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
第24期		円	%		%	%	%
	(期 首) 2022年 6 月21日	13, 235	—	13, 747	—	96. 3	3. 7
	6 月末	13, 557	2. 4	14, 080	2. 4	96. 3	3. 7
第25期	(期 末) 2022年 7 月21日	13, 700	3. 5	14, 234	3. 5	96. 2	3. 7
	(期 首) 2022年 7 月21日	13, 690	—	14, 234	—	96. 2	3. 7
	7 月末	13, 926	1. 7	14, 481	1. 7	96. 2	3. 7
第26期	(期 末) 2022年 8 月22日	13, 965	2. 0	14, 528	2. 1	96. 2	3. 7
	(期 首) 2022年 8 月22日	13, 955	—	14, 528	—	96. 2	3. 7
	8 月末	14, 103	1. 1	14, 685	1. 1	96. 3	3. 7
第27期	(期 末) 2022年 9 月21日	14, 112	1. 1	14, 708	1. 2	96. 3	3. 7
	(期 首) 2022年 9 月21日	14, 102	—	14, 708	—	96. 3	3. 7
	9 月末	13, 634	△ 3. 3	14, 219	△ 3. 3	96. 3	3. 6
第28期	(期 末) 2022年10月21日	13, 145	△ 6. 8	13, 720	△ 6. 7	96. 4	3. 6
	(期 首) 2022年10月21日	13, 135	—	13, 720	—	96. 4	3. 6
	10月末	13, 959	6. 3	14, 583	6. 3	96. 3	3. 6
第29期	(期 末) 2022年11月21日	13, 836	5. 3	14, 460	5. 4	96. 3	3. 6
	(期 首) 2022年11月21日	13, 826	—	14, 460	—	96. 3	3. 6
	11月末	13, 912	0. 6	14, 552	0. 6	96. 3	3. 6
	(期 末) 2022年12月21日	13, 216	△ 4. 4	13, 830	△ 4. 4	96. 4	3. 6

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 6. 22 ～ 2022. 12. 21）

国内リート市況

国内リート市況は、ほぼ横ばいとなりました。

国内リート市況は、当作成期首より、米国のインフレ懸念がやや後退し、米国の利上げペース鈍化期待から米国の長期金利が低下する中で上昇し、2022年8月以降はほぼ横ばいの推移となりました。9月下旬から10月中旬にかけては、欧米を中心とした金融引き締めによる世界的な景気後退リスクが投資家に強く意識され、米国の長期金利が上昇する中、他のリスク資産と同様に国内リート市場も下落しました。加えて、10月に入ると国内リート市場では公募増資の発表が相次ぎ、需給悪化が懸念され、下落幅が拡大しました。10月末には、米国長期金利が低下に転じる中、国内リート市場は割安感が意識され、大きく反発しました。12月は、日銀が長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）の運営を見直し、10年物国債利回りの変動幅を従来の「0%±0.25%程度」から「同±0.5%程度」に拡大すると決定したことなどを受けて、当作成期末にかけて下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」**当ファンド**

「高利回りＪ－ＲＥＩＴマザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

高利回りＪ－ＲＥＩＴマザーファンド

当ファンドの運用の基本方針に基づき、ベンチマークの動きに連動した投資成果をめざした運用を継続してまいります。

ポートフォリオについて

（2022. 6. 22 ～ 2022. 12. 21）

当ファンド

国内リートへの投資は、「高利回りＪ－ＲＥＩＴマザーファンド」の受益証券を組み入れることによって行いました。

■高利回りＪ－ＲＥＩＴマザーファンド

ベンチマークの動きを反映した投資成果をめざして、おおむね時価総額構成比に基づいたポートフォリオを構築しました。リート実質組入比率（不動産投信指数先物を含む。）については、当作成期を通じて99～100％程度としました。

＊マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

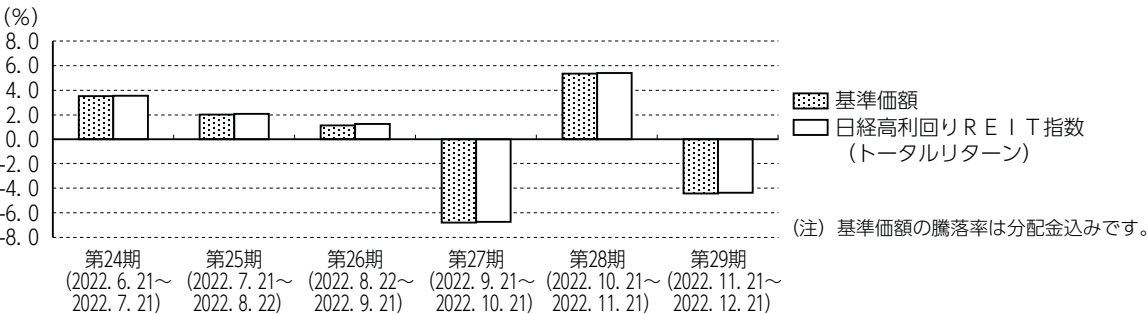
組入ファンド	ベンチマーク
高利回りＪ－ＲＥＩＴマザーファンド	日経高利回りＲＥＩＴ指数（トータルリターン）

ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は0.6％となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は0.2％となりました。

ポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との違い、先物取引の影響、運用管理費用、売買等のコスト負担が差異の要因となりました。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



＊ベンチマークは日経高利回りREIT指数（トータルリターン）です。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（１万口当り）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
	2022年 6月22日 ～2022年 7月21日	2022年 7月22日 ～2022年 8月22日	2022年 8月23日 ～2022年 9月21日	2022年 9月22日 ～2022年10月21日	2022年10月22日 ～2022年11月21日	2022年11月22日 ～2022年12月21日
当期分配金(税込み) (円)	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率 (%)	0.07	0.07	0.07	0.08	0.07	0.08
当期の収益 (円)	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	4,773	4,792	4,855	4,666	4,843	4,721

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（１万口当り）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 47.63円	✓ 35.95円	✓ 77.99円	✓ 16.97円	✓ 37.88円	✓ 37.06円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,171.80	2,185.50	2,197.11	2,085.87	2,261.40	2,121.86
(d) 分配準備積立金	2,564.06	2,580.67	2,590.54	2,573.26	2,554.21	2,572.26
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	4,783.50	4,802.13	4,865.64	4,676.10	4,853.50	4,731.19
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	4,773.50	4,792.13	4,855.64	4,666.10	4,843.50	4,721.19

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「高利回りＪ－ＲＥＩＴマザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

■高利回りＪ－ＲＥＩＴマザーファンド

当ファンドの運用の基本方針に基づき、ベンチマークの動きに連動した投資成果をめざした運用を継続してまいります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第24期～第29期 (2022. 6. 22～2022. 12. 21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	47円	0. 344%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,718円です。
（投 信 会 社）	(23)	(0. 165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(23)	(0. 165)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0. 010	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(0)	(0. 001)	
（投資信託証券）	(1)	(0. 010)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	49	0. 357	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

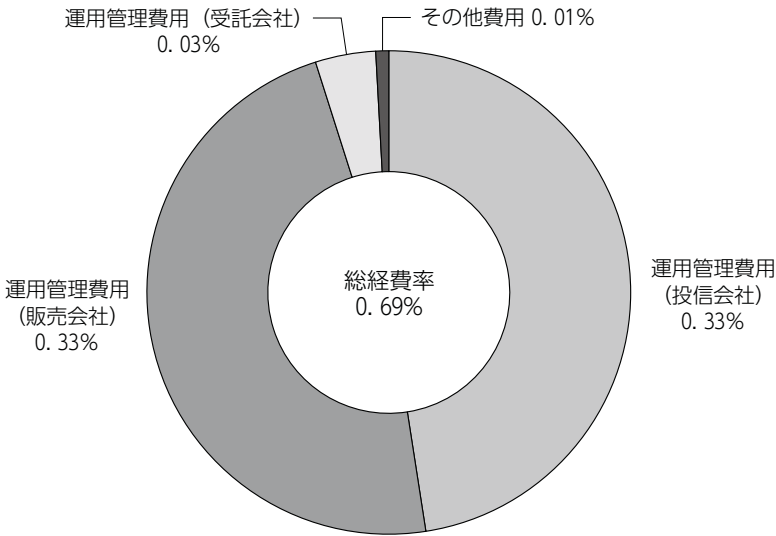
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.69%です。



(注 1) 1 万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注 2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注 3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年6月22日から2022年12月21日まで)

決 算 期	第 24 期 ～ 第 29 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
高利回りＪ－ＲＥＩＴ マザーファンド	11,261	15,967	10,791	15,280

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドおよびマザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等

(2022年6月22日から2022年12月21日まで)

種 類	第 24 期 ～ 第 29 期		
	高利回りＪ－ＲＥＩＴマザーファンド		
	買 付 額	売 付 額	作成期末保有額
	百万円	百万円	百万円
投資信託証券	0	0	18

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(3) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

(2022年6月22日から2022年12月21日まで)

種 類	第 24 期 ～ 第 29 期	
	高利回りＪ－ＲＥＩＴマザーファンド	
	買 付 額	
	百万円	
投資信託証券	0	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(4) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社、大和証券オフィス投資法人、大和証券リビング投資法人です。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	当作成期末 保有額	取 引 の 理 由
百万円 200	百万円 —	百万円 —	百万円 200	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	第23期末	第29期末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
高利回りＪ－ＲＥＩＴ マザーファンド	225,862	226,331	309,689

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年12月21日現在

項 目	第29期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
高利回りＪ－ＲＥＩＴ マザーファンド	309,689	99.9
コール・ローン等、その他	279	0.1
投資信託財産総額	309,969	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ高利回りＪ－ＲＥＩＴオープン（毎月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2022年7月21日）、（2022年8月22日）、（2022年9月21日）、（2022年10月21日）、（2022年11月21日）、（2022年12月21日）現在

項 目	第24期末	第25期末	第26期末	第27期末	第28期末	第29期末
(A) 資産	318,634,480円	325,412,287円	329,812,630円	308,241,236円	323,524,547円	309,969,891円
コール・ローン等	275,715	243,464	1,452,074	247,909	293,815	279,962
高利回りＪ－ＲＥＩＴ マザーファンド（評価額）	317,263,765	325,061,823	327,108,556	307,993,327	323,230,732	309,689,929
未収入金	1,095,000	107,000	1,252,000	—	—	—
(B) 負債	1,539,325	517,739	2,870,352	420,808	463,626	453,400
未払収益分配金	231,628	232,816	231,843	234,353	233,662	234,368
未払解約金	1,130,394	87,993	2,449,078	20	35,622	29,201
未払信託報酬	175,908	194,002	185,033	180,603	187,028	181,083
その他未払費用	1,395	2,928	4,398	5,832	7,314	8,748
(C) 純資産総額（A－B）	317,095,155	324,894,548	326,942,278	307,820,428	323,060,921	309,516,491
元本	231,628,399	232,816,468	231,843,896	234,353,093	233,662,661	234,368,119
次期繰越損益金	85,466,756	92,078,080	95,098,382	73,467,335	89,398,260	75,148,372
(D) 受益権総口数	231,628,399口	232,816,468口	231,843,896口	234,353,093口	233,662,661口	234,368,119口
1万口当り基準価額（C／D）	13,690円	13,955円	14,102円	13,135円	13,826円	13,206円

* 当作成期首における元本額は232,048,166円、当作成期間（第24期～第29期）中における追加設定元本額は15,277,697円、同解約元本額は12,957,744円です。

* 第29期末の計算口数当りの純資産額は13,206円です。

■損益の状況

第24期 自2022年6月22日 至2022年7月21日 第26期 自2022年8月23日 至2022年9月21日 第28期 自2022年10月22日 至2022年11月21日
第25期 自2022年7月22日 至2022年8月22日 第27期 自2022年9月22日 至2022年10月21日 第29期 自2022年11月22日 至2022年12月21日

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(A) 配当等収益	—円	—円	—円	△ 10円	△ 2円	—円
支払利息	—	—	—	△ 10	△ 2	—
(B) 有価証券売買損益	10,933,442	6,567,876	3,807,363	△ 21,965,815	16,427,001	△ 14,092,934
売買益	10,973,359	6,581,057	3,854,540	274,302	16,652,908	3,026
売買損	△ 39,917	△ 13,181	△ 47,177	△ 22,240,117	△ 225,907	△ 14,095,960
(C) 信託報酬等	△ 177,303	△ 195,535	△ 186,503	△ 182,037	△ 188,510	△ 182,517
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	10,756,139	6,372,341	3,620,860	△ 22,147,862	16,238,489	△ 14,275,451
(E) 前期繰越損益金	24,637,076	35,056,312	40,770,695	43,205,849	20,552,915	36,528,448
(F) 追加信託差損益金	50,305,169	50,882,243	50,938,670	52,643,701	52,840,518	53,129,743
（配当等相当額）	（ 45,467,228）	（ 46,191,908）	（ 46,374,527）	（ 48,883,035）	（ 49,348,571）	（ 49,729,717）
（売買損益相当額）	（ 4,837,941）	（ 4,690,335）	（ 4,564,143）	（ 3,760,666）	（ 3,491,947）	（ 3,400,026）
(G) 合計（D＋E＋F）	85,698,384	92,310,896	95,330,225	73,701,688	89,631,922	75,382,740
(H) 収益分配金	△ 231,628	△ 232,816	△ 231,843	△ 234,353	△ 233,662	△ 234,368
次期繰越損益金（G＋H）	85,466,756	92,078,080	95,098,382	73,467,335	89,398,260	75,148,372
追加信託差損益金	50,305,169	50,882,243	50,938,670	52,643,701	52,840,518	53,129,743
（配当等相当額）	（ 45,467,228）	（ 46,191,908）	（ 46,374,527）	（ 48,883,035）	（ 49,348,571）	（ 49,729,717）
（売買損益相当額）	（ 4,837,941）	（ 4,690,335）	（ 4,564,143）	（ 3,760,666）	（ 3,491,947）	（ 3,400,026）
分配準備積立金	60,262,693	60,686,465	61,636,562	60,468,549	60,334,074	60,919,942
繰越損益金	△ 25,101,106	△ 19,490,628	△ 17,476,850	△ 39,644,915	△ 23,776,332	△ 38,901,313

（注1） 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2） 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3） 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,103,316円	837,017円	1,808,231円	397,714円	885,320円	868,590円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	50,305,169	50,882,243	50,938,670	48,883,035	52,840,518	49,729,717
(d) 分配準備積立金	59,391,005	60,082,264	60,060,174	60,305,188	59,682,416	60,285,720
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	110,799,490	111,801,524	112,807,075	109,585,937	113,408,254	110,884,027
(f) 分配金	231,628	232,816	231,843	234,353	233,662	234,368
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	110,567,862	111,568,708	112,575,232	109,351,584	113,174,592	110,649,659
(h) 受益権総口数	231,628,399口	232,816,468口	231,843,896口	234,353,093口	233,662,661口	234,368,119口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金（税込み）	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
	10円	10円	10円	10円	10円	10円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
 - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

「日経高利回りＲＥＩＴ指数」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は日経高利回りＲＥＩＴ指数を継続的に公表する義務を負うものではなく、その誤謬、遅延または中断に関して責任を負いません。また、本件投資信託について、日本経済新聞社は一切の責任を負うものではありません。

高利回りＪ－ＲＥＩＴマザーファンド

運用報告書 第５期（決算日 2022年12月21日）

（作成対象期間 2022年 6 月22日～2022年12月21日）

高利回りＪ－ＲＥＩＴマザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

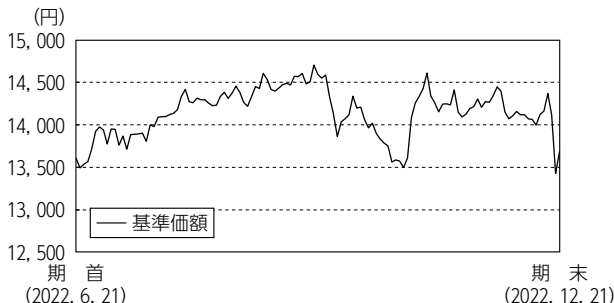
運 用 方 針	投資成果を「日経高利回りＲＥＩＴ指数」の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		日経高利回りＲＥＩＴ 指数（トータルリターン）		投 資 信 託 証 券 指 数 先 物	
	円	%	（ベンチマーク）	騰落率	組 入 比 率	不 動 産 投 信 指 数 先 物 比 率
（期首）2022年 6月21日	13,605	—	13,747	—	96.2	3.7
6 月 末	13,939	2.5	14,080	2.4	96.3	3.7
7 月 末	14,336	5.4	14,481	5.3	96.3	3.7
8 月 末	14,538	6.9	14,685	6.8	96.3	3.7
9 月 末	14,072	3.4	14,219	3.4	96.4	3.6
10 月 末	14,427	6.0	14,583	6.1	96.3	3.6
11 月 末	14,397	5.8	14,552	5.9	96.3	3.6
（期末）2022年12月21日	13,683	0.6	13,830	0.6	96.4	3.6

（注 1）騰落率は期首比。

（注 2）日経高利回りＲＥＩＴ指数（トータルリターン）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日の前営業日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

（注 3）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

（注 4）不動産投信指数先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,605円 期末：13,683円 騰落率：0.6%

【基準価額の主な変動要因】

ベンチマークの動きに連動した投資成果をめざした運用を行った結果、国内リート市況は国内外の長期金利の動きを背景に大きく変動しましたが、当作成期を通じてみるとほぼ横ばいとなり、基準価額もほぼ横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○国内リート市況

国内リート市況は、ほぼ横ばいとなりました。

国内リート市況は、当作成期首より、米国のインフレ懸念がやや後退し、米国の利上げペース鈍化期待から米国の長期金利が低下する中で上昇し、2022年 8 月以降はほぼ横ばいの推移となりました。

9 月下旬から10月中旬にかけては、欧米を中心とした金融引き締め

による世界的な景気後退リスクが投資家に強く意識され、米国の長期金利が上昇する中、他のリスク資産と同様に国内リート市場も下落しました。加えて、10月に入ると国内リート市場では公募増資の発表が相次ぎ、需給悪化が懸念され、下落幅が拡大しました。10月末には、米国長期金利が低下に転じる中、国内リート市場は割安感が意識され、大きく反発しました。12月は、日銀が長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）の運営を見直し、10年物国債利回りの変動幅を従来の「0%±0.25%程度」から「同±0.5%程度」に拡大すると決定したことなどを受けて、当作成期末にかけて下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドの運用の基本方針に基づき、ベンチマークの動きに連動した投資成果をめざした運用を継続してまいります。

◆ポートフォリオについて

ベンチマークの動きを反映した投資成果をめざして、おおむね時価総額構成比に基づいたポートフォリオを構築しました。リート実質組入比率（不動産投信指数先物を含む）については、当作成期を通じて99～100%程度としました。

◆ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は0.6%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は0.6%となりました。

ポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率の違い、先物取引の影響、売買等のコスト負担が差異の要因となりました。

*ベンチマークは日経高利回りＲＥＩＴ指数（トータルリターン）です。

《今後の運用方針》

当ファンドの運用の基本方針に基づき、ベンチマークの動きに連動した投資成果をめざした運用を継続してまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 （先物・オプション） （投資信託証券）	1円 (0) (1)
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	1

（注 1）費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

（注 2）項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

高利回りＪ－ＲＥＩＴマザーファンド

■売買および取引の状況

(1)投資信託証券

(2022年 6 月22日から2022年12月21日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
国内	0.137	19,667	0.078 (—)	12,292 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 売付 () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の種別取引状況

(2022年 6 月22日から2022年12月21日まで)

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
国内		百万円	百万円	百万円	百万円
	不動産投信指数 先物取引	23	23	—	—

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託証券

(2022年 6 月22日から2022年12月21日まで)

当 期				期 付			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
ユナイテッド・アーバン投資法人	0.01	1,489	148,951	ユナイテッド・アーバン投資法人	0.007	1,050	150,038
日本ビルファンド	0.002	1,359	679,851	フロンティア不動産投資	0.002	1,038	519,341
オリックス不動産投資	0.007	1,318	188,400	日本都市ファンド投資法人	0.009	970	107,841
日本都市ファンド投資法人	0.012	1,299	108,284	オリックス不動産投資	0.004	749	187,261
フロンティア不動産投資	0.002	1,051	525,961	大和証券リビング投資法人	0.006	690	115,049
大和証券リビング投資法人	0.008	936	117,027	日本ビルファンド	0.001	676	676,283
大和ハウスリート投資法人	0.003	916	305,601	ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人	0.003	626	208,796
ラサールロジポート投資	0.005	835	167,026	大和ハウスリート投資法人	0.002	602	301,485
野村不動産マスターＦ	0.005	827	165,544	いちごオフィスリート投資法人	0.006	507	84,660
日本プライムリアルティ	0.002	815	407,512	ラサールロジポート投資	0.003	501	167,320

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内投資信託証券

銘 柄	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
サンケイリアルエステート	0.02	0.02	1,786
森ヒルズリート	0.067	0.068	10,608
ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人	0.035	0.035	7,066
A P I 投資法人	0.031	0.032	12,976
O n e リート投資法人	0.011	0.012	2,932
イオンリート投資	0.076	0.078	11,895
ヒューリックリート投資法	0.056	0.057	9,296
日本リート投資法人	0.018	0.018	6,318
積水ハウス・リート投資	0.167	0.171	12,944
ケネディクス商業リート	0.025	0.025	6,332

銘 柄	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村不動産マスターＦ	0.092	0.094	15,190
ラサールロジポート投資	0.052	0.054	8,537
スターアジア不動産投	0.075	0.077	4,158
投資法人みらい	0.075	0.077	3,457
C R E ロジスティクスファンド	0.017	0.017	3,272
タカラレーベン不動産投	0.024	0.024	2,332
日本ビルファンド	0.022	0.023	13,547
日本都市ファンド投資法人	0.145	0.148	15,229
オリックス不動産投資	0.085	0.088	16,095
日本プライムリアルティ	0.033	0.034	12,529

銘 柄	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
NTT 都市開発リート投資法人	0.059	0.061	8,399
東急リアル・エステート	0.035	0.036	7,390
グローバル・ワン不動産投資法人	0.035	0.036	3,758
ユナイテッド・アーバン投資法人	0.105	0.108	15,854
森トラスト総合リート	0.049	0.05	7,300
フロンティア不動産投資	0.02	0.02	10,260
平和不動産リート	0.036	0.037	5,531
福岡リート投資法人	0.029	0.03	5,097
ケネディクス・オフィス投資法人	0.015	0.031	9,811
いちごオフィスリート投資法人	0.064	0.066	5,596
大和証券オフィス投資法人	0.016	0.016	10,096
阪急阪神リート投資法人	0.023	0.024	3,616
大和ハウスリート投資法人	0.048	0.049	14,092
大和証券リビング投資法人	0.071	0.073	8,227
ジャパンエクセレント投資法人	0.05	0.051	6,854
合 計	□ 数、金 額	1.781	1.84
	銘 柄 数 < 比 率 >	35銘柄	35銘柄
			< 96.4% >

(注 1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘 柄 別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
国 内	百万円	百万円
	11	—

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年12月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託証券	298,391	96.2
コール・ローン等、その他	11,649	3.8
投資信託財産総額	310,041	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	310,041,491円
コール・ローン等	8,446,141
投資信託証券（評価額）	298,391,800
未収配当金	1,948,650
差入委託証拠金	1,254,900
(B) 負債	358,560
未払金	358,560
(C) 純資産総額（A－B）	309,682,931
元本	226,331,893
次期繰越損益金	83,351,038
(D) 受益権総口数	226,331,893□
1万口当り基準価額（C／D）	13,683円

* 期首における元本額は225,862,086円、当作成期間中における追加設定元本額は11,261,231円、同解約元本額は10,791,424円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイワ高利回りＪ－ＲＥＩＴオープン（毎月分配型）226,331,893円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,683円です。

■損益の状況

当期 自2022年 6月22日 至2022年12月21日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	6,419,115円
受取配当金	6,421,014
支払利息	△ 1,899
(B) 有価証券売買損益	△ 4,668,002
売買益	4,345,295
売買損	△ 9,013,297
(C) 先物取引等損益	△ 41,340
取引益	791,340
取引損	△ 832,680
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	1,709,773
(E) 前期繰越損益金	81,424,072
(F) 解約差損益金	△ 4,488,576
(G) 追加信託差損益金	4,705,769
(H) 合計（D＋E＋F＋G）	83,351,038
次期繰越損益金（H）	83,351,038

(注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

「日経高利回りＲＥＩＴ指数」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は日経高利回りＲＥＩＴ指数を継続的に公表する義務を負うものではなく、その誤謬、遅延または中断に関して責任を負いません。また、本件投資信託について、日本経済新聞社は一切の責任を負うものではありません。